



# 旧福井中学校跡地活用

## ? なぜこの事業を行なっているのですか？

平成3年に閉校した旧福井中学校の跡地は、JR浅草橋駅に近接する大規模用地であり、この特性を活かしつつ地域を活性化させるためにどのように活用したらよいかという観点から、区は、地元の方々をはじめ、多くの関係者との話し合いを続け、十分な検討を行ってきました。

その結果、平成20年4月に「旧福井中学校跡地活用に関する基本構想（※解説）」をまとめ、古くから人形、玩具、文具、帽子、繊維などの問屋を中心に発展し、卸売業と小売業が数多く集まっている浅草橋地域の特性を活かして、産業振興を図りつつ、にぎわいを創り出すことができる施設の整備を目指すことになりました。

## ? どのようなことを行なっていますか？

「旧福井中学校跡地活用に関する基本構想」に基づいて、旧福井中学校跡地に新しい施設の整備を行います。

新しい施設は、民間事業者から地域活性化に対する考え方や施設内容について提案を受け、それをもとに民間事業者がそのノウハウを生かして整備・運営する地域活性化施設として、平成25年2月の開業を目指しています。

また、区は、テナントショップなど、地域活性化のために指定した施設の整備を求め、それにより、地域のにぎわい創出を図っていきます。

### 【区が指定する設備等】

- テナントショップ（区内中小企業等の出店枠、区内産業・観光情報コーナー）
- 多目的スペース
- 自転車駐車場、レンタサイクル
- 災害時の備蓄倉庫、防火水槽

## ？ 事業の進み具合はどうか？

平成20年 4月 旧福井中学校跡活用に関する基本構想を策定  
 平成21年10月 施設の建設・運営を行う事業者を募集  
 平成22年 8月 事業者を決定

### (新しい施設の概要)

階数	施設内容
4階～12階	事務所
3階	多目的ルーム、ギャラリー、備蓄倉庫
2階	多目的ホール
1階	ショップ、台東区産業・観光情報コーナー
地下	駐車場、駐輪場

※敷地内には小さな広場もあります。



新しい施設の外観  
 (平成22年2月事業者提案時のもの)

## ？ 今後はどのように取り組んでいくのですか？

平成25年2月の開業を目指して、関係者と調整しながら、事業者による施設の整備を進めていきます。区は、建設中ならびに開業後においても、事業者と協力しながら、この施設を中心に地域が活性化するように、取り組んでいきます。

### 【今後のスケジュール】

平成22年10月 既存建物等解体工事着手  
 平成23年 7月 施設建設着手  
 平成25年 2月 施設オープン

### ■ この事業に関するお問合せは ■

文化産業観光部にぎわい計画課

03-5246-1328

### 【解説】

「旧福井中学校跡地活用に関する基本構想」

旧福井中学校跡地に整備する施設について、施設全体のコンセプト、事業手法及び区の指定施設などについて定めたものです。

施設全体のコンセプトは「①地域の産業を活かした誘客・来街施設を整備し、周辺の間屋街や商店などとの連携により、訪れた人と地域を繋ぐことでにぎわいを創出し、産業振興と地域の活性化を図っていくこと、②地域で働く人、暮らす人のための施設を整備し、地域の交流を促進し、まちの快適性や利便性の向上を図ることにより、地域活性化の一助とすること」となっています。